

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

(令和6年度 第2回)

施設名 : グループホームやまもも

施設種類 : 認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護

日時 : 令和6年7月30日(火) 14時00分～

会場 : 伊野本陣 ミーティングルーム

出席者 :

利用者家族様の代表	高齢者あんしん支援センター
地区住民の代表	伊野地区自治協会会長
地区民生委員	

(議題)

- 1) 利用状況報告
- 2) 詳細報告
- 3) 活動報告
- 4) その他、意見交換

1. 利用状況（令和6年6月30日現在）

(1) 登録者数 9名（男性2名/女性7名）

新規契約者 … 1名

契約解除者 … 1名

待機者 5名

(2) 介護度別入居者数

	要介護度					平均介護度
	1	2	3	4	5	
入居者	2人	2人	2人	2人	1人	2.8

(3) 平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均年齢
入居者	93歳	74歳	86.3歳

2. 詳細報告

(1) 入退所について

- ・ 91歳の女性 要介護2の方 5/7に退所。
心不全で入退院を繰り返していたが、病状が思わしくなく療養病棟へ移られる。
- ・ 86歳の女性 要介護4の方 6/14に入所。
孫と2人暮らしで、孫さんは夜勤がある仕事の為、家を空ける事が多い。4月から心不全等の為、長期入院されていた。その間に認知症状も進み、退院後に自宅での生活を心配され入所となる。

(2) 体調について

- ・ M.T様 6月初旬、食欲低下やふらつき、ろれつが回らないような話し方をされ県立中央病院で受診するも原因特定できず検査入院となる。CT、血液検査などどれも問題なく、食欲も戻ったため3日後に退院する。1週間後の受診も特に問題なく、その後は普段通り過ごされている。

(3) ヒヤリハット報告

場所	居室	ホール	風呂・脱衣場	トイレ	離設	合計
件数	2	5	0	0	0	7

- ・ 普段、車イスをご利用の方。ホールの畳スペースに1人で移動して座っていた（2件）

- ・普段、車イスをご利用の方。車イスから降りようとされていた。
- ・訪室すると居室の床に座っておられた。転倒された様子はなくご自分でベッドから降りられたと思われる。
- ・訪室すると掛布団の上に座り、ベッドからずり落ちそうになっていた。
- ・歩行器なしでトイレに歩いて行こうとされていた。
- ・歩行困難の利用者、動いて車イスからずり落ちそうになっていた。

(4) 事故報告

場所	居室	ホール	風呂・ 脱衣場	トイレ	離設	合計
件数	3	3	0	0	0	6

- ① 床に薬が1錠落ちていた。(2件)
- ② 音(声)がして居室に行くと、転倒されていた。負傷はされていません。(3件)
- ③ 車イスの肘かけ部分に手をかけられていたが気付かず移動させ、テーブルで左中指を挟んでしまった。負傷はされていません。(1件)

◆ 事故報告の見解

①について

1件は薬を手渡しする時か、口に入れる時に落ちたのではないかとと思われる。もう1件は、床に落ちた錠剤が溶け出していたので口から出したようだ。職員は1錠ずつ確実に手渡しをして、口に入れて飲み込むまでを必ず確認すること。利用者のその日の状況によって無理に手渡しをせず、口を開けてもらって職員が薬を直接口に入れてもいいのではないと思う。

②について

1件は、掛布団が床に落ちていたので、布団につまずいて転倒したのではないかとと思われる。掛布団が落ちないように、布団の下側の角1か所をベッドに括り付け布団が落ちないように対応した。後の2件は、前回から何度も報告してきた利用者。居室内での出来事に対応が難しく、引き続き対策を検討する。ご家族にも状況をご理解いただいている。

③について

明らかに職員の不注意で気を付ければ防げる事故。車イスに乗った方の体や車幅を確認しながら移動すること。

(5) 苦情報告

特にありません。

3. 活動報告

< 行事報告 >

5月21日（火） 運営推進会議

令和6年度 第1回、運営推進会議を開催しました。

今回も施設にて、皆さんにお集まりいただき話し合いができました。

5月30日（木） 笹巻き作り

毎年恒例となっています『笹巻き』を今年も施設内で作りました。

作業が出来る方は参加してもらって、もくせいの利用者様と一緒に笹巻きをしました。

3時のお茶の時間には、出来上がった笹巻を美味しくいただきました。

6月21日（金） 伊野いち

地元のイベント『伊野いち』が開催されました。

以前は施設の近くで開催されていたので、利用者さんと散歩がてら車イスに乗ったまま出掛けたりもできましたが、数年前から伊野コミセンの方での開催となり気軽にお出掛けスタイルではなくなりました。

希望者数人と職員とで出掛けて、会場の賑やかな雰囲気を楽しみました。

< 研修・活動 >

特にありませんでした。

4. 意見交換

Q. 市役所) 事故報告の以前より何度も転倒されている方の対応は？

A. 管理者) 普段、車イスで生活されている方。夜間、ベッドから移動しようとして転倒される。居室への見守り回数を増やしているが、対応が難しい。

Q. 市役所) 夜間、動かれるのですか？

A. 管理者) 目が覚めて、職員を呼ばずにトイレに行こうとして転倒される。途中で起こしてトイレに誘導しても、結局、また目が覚めるとトイレに行こうとされるので意味がない。睡眠薬で眠ってもらうという選択肢もあるのですが出来るだけ薬は使わないようにしている。

Q. 市役所) センサーマットは使われないのですか？

A. 管理者) 身体拘束になると使っていません。

Q. 施設長) 他の施設ではどうですか？ 利用されていますか？

A. 市役所) 使っている施設はあります。使い方によって身体拘束と見なされる場合があるのでその辺を考えて使用すれば大丈夫だと思います。

管理者) センサーマットの使用も検討しようと思います。

Q. あんしん) 転倒の多い方というのは、入所前に自宅でもよく転倒されていたのでしょうか？

A. 管理者) 病気で長い間入院されていた方です。入院中、足腰が弱って自力で歩けなくなり退院後に自宅での生活が困難と家族様が判断されて入所されています。本人の中では歩けると思っているようです。